





毎年やってくる別れの季節が今年もやってきました。そんな別れを前にした三年担任の先生方にインタビューしてみました。

三年担任への質問

- ①クラスとの思い出
- ②生徒が成長したと思うこと
- ③クラスの第一印象と今の印象
- ④値しがったこと
- ⑤生徒に贈りたい曲
- ⑥印象に残っている生徒
- ⑦クラスに一言

機械科 倉野正先生

- ①修学旅行。夜遅くまで廊下で話し合えた。
- ②一言かけるだけで行動できたとき。挨拶のときにホックを止めるようになったとき。
- ③前も今も動物園のまま。
- ④最後の年に一緒に卒業ができること。
- ⑤ゴスペラーズ
- ⑥白井透也君。M3の話
- ⑦大丈夫かなあ。



私より先に死ぬな

機械システム科 平康太郎先生

- ①謹慎処分の指導があり大変だった。
- ②して欲しいと思っていられることを言わずともしてくれているところ。
- ③変わらない。
- ④生徒からインターハイのお土産として、Tシャツをもらったこと。
- ⑤特になし。
- ⑥長畑麟太郎君。一年間教室の前の席にいたから、私より先に死ぬな。元気に生活してください。

電気科 飯島智志先生

- ①すべてが思い出。
- ②始めは、社会性がないと思っていた。今は魚の足ぐらいの速さで、徐々に良くなった。
- ③笑顔だったとき。
- ④「旅立ちの日」に。
- ⑤それぞれの役割でやれている。
- ⑥さようなら。



君たちと過ごしたすべてが思い出

工業化学科 松本健先生

- ①自律。
- ②最初は素直。今では社会人らしくなった。
- ③行事のときなどに一致団結しているところ。
- ④中洲剛「きばいやんせ」
- ⑤全員。
- ⑥死ぬなよ。
- ⑦死ぬなよ。

早すぎた時間

# 卒業生に贈る担任からの言葉

たくさん感じた成長

～先生方から語られた多くの言葉～

卒業編 てふ互生!!! パート③

～生涯現役～

「四コマ作製中」

あぁ……

来年は……

※近い未来が見えてしまった。

A3担任 平沼先生

気合と根性で頑張り

建築科 平沼晃佑先生

I3担任 武田先生

俺のありがたみを卒業後に気付く

インテリア科 武田修先生

C3担任 松本先生

社会人らしくなった

D3担任 今泉先生

応援幕を作ってくれて嬉しかった

学年主任 江川哲也先生

三年生の学年主任である江川先生にも同様にインタビューをしました。

Q 学年の一番の思い出は

Q 野島の全校応援

Q 成長したと思うこと

Q 動物から人への進化

Q 学年を色に例えると

Q 嬉しかったこと

Q 赤

Q クイズ大会予選でみんな笑ってくれたこと

Q 生徒に贈りたい曲

Mr. Chiiden [one two three]

学年主任 江川先生

可愛がられる人になれ

Q 学年に一言

すみませんでしたが。可愛がられる人になりました。一年間ありがとうございました。

J3担任 吉岡先生

三年間 ありがとう

情報技術科 吉岡輝弘先生

「交響曲第九番」

電子工学科 今泉宏先生

部長だった日々

私が新聞部として文章を書くのもこれで最後です。長すぎた新聞部生活もやっと終わりを迎えますね。恵美子先生、この一年間、本当に色々なことありがとうございました。特に総文祭の年間紙面審査で最優秀賞を取ったことが一番の思い出です。それに関連して、県庁訪問や県民表彰という県立に学校生活を送っていただけでは体験できなかったこと、もしかしたら、それらもなかったかもしれません。思えば、部長として部の後輩たちになにか残すことができたので、さうさ。喋ってばかりだった気がします。すみません。まあ、茶番はここまで。一つ学校の後輩たちにアドバイスを残して去っていきます。皆で仲良くやっってください。クラス替えがない長工では、クラス替え、部活というコミュニケーションに三年間属することになりました。どうせ同じ時間を過ごすなら、仲良く、楽しく過ごさうが、生活、たくさん皆さんの思い出を残すよう祈っています。文を書くのが最後と言いましたが、部活に顔をさらるんだらうなあ。お世話になりました。(岡本)

編集 後記

ついに三年生に届いた最終号。今まで長かったような短かったようなこの号も、ついに三年生は引退となります。一年間、二年生は人数が少なく、上手に回るか本当に心配ですが、なんとかかると信じています。